

中日国交断絶期の日本語習得者に関する研究

課題番号 21730651

平成 21 年度～平成 24 年度
科学研究費補助金 若手研究(B)
研究成果報告書

平成 25 年 3 月

研究代表者 山本 経天 (経 志江)

(日本経済大学経済学部準教授)

はしがき

研究代表者

山本 経天（中京女子大学人文学部助教）

交付決定額

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成21年度	1,300	390	1,690
平成22年度	700	210	910
平成23年度	900	270	1,170
平成24年度	500	150	650
総計	3,400	1,020	4,420

研究発表

（1）単著論文

- ①「中日国交断絶期の日本語高等教育機関－建国初期の2校を対象として」『中京女子大学研究紀要』第44号、2010年、41-51頁。
- ②「中日国交断絶期における唯一の日本語・日本文学教授－徐祖正」『日本経大論集』第42巻、2012年、23-44頁。

（2）単独発表

- ①「中日国交断絶期の日本語高等教育機関－建国初期の3校を対象として」（日本教育学会第68回大会、2009年8月29日、東京大学駒場キャンパス）。
- ②「岡崎兼吉－新中国北京大学の日本語教育とともに歩んだ『老専家』」（第2回東アジア教師教育研究国際大会、2010年12月16日、香港教育学院）。

- ③「中日国交断絶期における唯一の日本文学教授—徐祖正」（教育史学会第55回大会、2011年10月2日、京都大学文学部新館）。
- ④「陳信徳—中日国交断絶期北京大学の日本語教師」（第3回東アジア教師教育研究国際大会、2012年12月8日、中国上海・華東師範大学）。

目次

はしがき

序章	1
第1部 中日国交断絶期の日本語高等教育機関	3
第1章 建国初期の3つの日本語教育機関	5
第2章 文化大革命前夜の大連日語専科学校	21
第2部 中日国交断絶期の日本語教師たち	37
第3章 戦前の日本語習得者—徐祖正	39
第4章 旧植民地出身者—陳信徳	55
第5章 日本人居留民—岡崎兼吉	71
第6章 新中国に支援した日本共産党員—大連日語専科学校の日本人教師団	87
資料集	119

